

親子で本格ピザ作り



終了報告

平成29年6月25日
神奈川県立愛川ふれあいの村

16家族54名の方にご参加頂き、親子で本格ピザ作りを開催しました。アットホームな雰囲気、「ピザがとても美味しかった。」と大好評で終わることができました。

最初に『はじまりのつどい』を行いました。はじめましての人ばかりで子どもたちは緊張気味です。はじまりのつどいの後は、お互いのことを知るために自己紹介と緊張をほぐすために頭と体を使ったゲームをしました。ゲームをクリアした喜びと失敗してしまった時に生まれる笑いが参加者の緊張をほぐしてくれました。



今回作るメニューは、“3種類のピザ”と“ミネストローネ”です。まずは班ごとに“生地係”と“食材係”“火係”を選び、スタッフから生地のコネ方やミネストローネの作り方の説明を受けます。小さな子どもたちも真剣に聞いていました。いよいよ、調理スタートです！



生地係の子どもたちは、小さな手で一生懸命生地をこねていきます。こね続けていくと、だんだんやわらかくなってきます。耳たぶと比べてみるとどうかな。体をつかって確かめます。こね終えた後は発酵させます。



一方、食材系はミネストローネ作りのために材料を切っていきます。中には初めて包丁を使う子どももいました。我が子の手を取り包丁の使い方を教え、指を切らないかと心配そうにお母さんが側で見守ります。家庭ではあまりお手伝いをする事ができない子どもにとって「いい経験です。」とお母さんが仰っていました。



次は切った材料をピザ生地にトッピングしていきます。彩り豊かな夏野菜を手に取り、思い思いにトッピングしていきます。「一緒にやろう！」と力を合わせてピザを作っていく姿はとても楽しそうです。



火係は火起こしのレクチャーを受けました。間近で燃え上がる炎に生き生きとした子どもたち。レクチャーを受けた後は自分たちで挑戦、組んだ薪に火をつけます。

「焼き上がりまで、あと 10 秒！」できたてのピザの香ばしい香りに歓声があがります！さっそく切り分けてみんなで「いただきます！」子どもたちはとっても満足気な表情です。お父さんお母さんにも大好評でした。苦手な野菜があった子も「自分で作ったものだから。」と好き嫌いせずに食べていました。



できたてのピザを囲んで班の集合写真を撮りました。アットホームな雰囲気“親戚の集まり”かと思うほどでした。ピザ作りを通して、関係が深まった証でしょう。美味しく食べ終えた後は、お片付けです。“使う前よりもきれいに”という気持ちで片付けます。ある小さな女の子がお鍋の片付け場所がわからず、側にいる女性に“お母さん”と助けを求める場面がありました。「ボールはこっちだよ」と教えてあげる女性。実は小さな女の子が“お母さん”と声をかけた女性は、別の家族のお母さんでした。女の子が勘違いをしてしまうほど近い関係になれたようです。



家族でアウトドアクッキングをしたことがないという方もいました。参加した理由は、「普段出来ない体験を子どもにさせてあげたいから。」だと言っていました。火を使って調理をする経験、大きく膨らんだ生地に驚いたり、焼きたての香ばしいかおりに心を躍らせたり、初めて会った人と協力し、作ったものを一緒に食べる経験は、子どもたちにとってかけがえのない体験なのかもしれません。今後とも“自分の手で作る”“みんなで作る”ことを大事にしていればとてもうれしく思います。

文責：塚原